

9月議会議運後兼9月市長定例記者発表要旨

と き 令和元年8月29日(木)10時30分～ ところ 庁議室

1 令和元年第3回佐伯市議会定例会提出議案について

1. 会 期

9月4日(水)から25日(水)まで

2. 議案等の件数

予算議案12件、予算外議案29件、諮問6件、専決処分の報告1件、報告事項12件

3. 主な予算議案の概要

(1) 令和元年度一般会計補正予算の規模

補正額：6億9,782万8,000円 元年度予算総額：524億7,589万8,000円

※ 前年度9月補正後総額：479億6,345万9,000円 前年度比：45億1,243万9,000円増

(2) 主な事業【歳出】

ア. 移住支援事業(地域振興課)【新規】 225万円 補正後予算額：225万円

県外から佐伯市へ移住し就業又は起業した人に対し、移住支援金を支給する事業

イ. 子育てのための施設等利用給付事業(こども福祉課)【新規】

1,175万9,000円 補正後予算額：1,175万9,000円

幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者の就労等を理由とするこども園や認可外保育施設等の利用について、その利用料を無償化するための費用(国1/2、県1/4、市1/4)

ウ. 予防接種事業(健康増進課) 1,757万円 補正後予算額：1億8,737万3,000円

子ども(中学校卒業まで)のインフルエンザ予防接種の助成及び特定の年齢の成人男性に対する緊急風しん抗体検査等に要する経費

エ. プレミアム付商品券事業(商工振興課)

1億1,500万円 補正後予算額：1億7,765万9,000円

消費税率の10%への引上げに伴い、家計の負担緩和や地域の消費下支えのため実施されるプレミアム付商品券事業に係る事業費(商品券のプレミアム分5,000円×23,000人)を追加(国10/10)

オ. オフィス系企業誘致施設整備事業(商工振興課) 【新規】

500万円 補正後予算額：500万円

オフィス系企業の誘致促進を図るため、誘致企業が事業を営むために入居する施設として旧佐伯豊南高校校舎を改修する事業。今回の補正予算では、職員室棟2階の改修工事に伴う設計委託料を計上

カ. 観光事業費（観光課） 863万2,000円 補正後予算額：6,928万7,000円

ラグビーワールドカップ観戦者等を対象とする誘客関連事業及び「さいきツーリズム戦略2019・2023」ロゴの作成に係る費用等

4. 主な予算外議案の概要

議案第103号 工事請負契約の締結について（令和元年度佐伯市防災・行政ラジオシステム中継局整備工事）（防災危機管理課）

（1）契約の内容

- ア. 工 期 令和3年3月15日まで
- イ. 契約の相手方 電気興業株式会社 九州支店
- ウ. 契約金額 4億2,020万円

（2）工事の概要

工事の箇所等	工事（設置設備等）の概要
演奏所（エフエムさいき）	送信機器設備新設
基幹局（波越山送信所）	鉄塔建設、局舎更新、送信機器設備新設
中継局（畑野浦、背平山、板戸山）	送信機器設備新設
中継局（米花山）	局舎更新、送信機器設備新設
佐伯市役所	緊急時用の放送設備新設

（3）工事費の財源内訳

4億2,020万円（合併特例債：3億9,910万円 一般財源：2,110万円）

議案第107号 佐伯市道の駅宇目条例の一部改正について（観光課）

道の駅宇目の花き販売施設をユネスコエコパークに登録された宇目地域等の魅力を伝える情報発信施設として活用するため、施設の名称「花き販売施設」を「情報発信施設」に変更する。

同施設は平成16年2月に整備され、平成23年3月末に花きの販売を終了した。その後は主に観光客の休憩所としていた。

平成29年6月に「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の登録を受け、宇目地域における行動の拠点として道の駅宇目及びうめキャンプ村の一带と定めたことから、同施設を宇目地域の魅力などを情報発信するための施設として活用する。

(1) 情報発信施設の概要

- ア. 構造 木造平家建
- イ. 床面積 50 m²
- ウ. 主な設備
 - (ア) 高画質大型映像設備 (3.6m×2m・1台)
 - (イ) タッチパネル式情報発信端末 (55インチ・1台)
※4か国語対応 (日本語、英語、韓国語、中国語)
 - (ウ) Wi-Fi 設備
 - (エ) イートインスペース (テーブル3台)
- エ. 利用料金 無料

(2) 施設 (設備) の整備事業費の財源内訳

2,994 万 6,240 円 (県補助金 : 1,996 万 4,000 円 地域振興基金繰入金 : 998 万 2,000 円
一般財源 : 240 円)

(3) 施設の管理者 株式会社マルミヤストア (現指定管理者)

議案第 108 号 さいき城山桜ホール条例の制定について (大手前開発推進室)

さいき城山桜ホールの設置及び管理に関し、新たに条例を制定する。

(1) 設置の目的

文化芸術の振興と多世代による多様な交流と活動を促進し、もって市民の豊かな心の育みと地域のにぎわいの創出に寄与する

(2) 開館時間

午前 8 時 30 分から午後 10 時 30 分まで

(3) 休館日

毎月の第 2 火曜日及び第 4 火曜日、12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日

(4) 施設の概要

- ア. 敷地面積 : 5,582 m²
- イ. 建物構造 : 鉄筋コンクリート造 (一部、鉄骨鉄筋コンクリート造) 、鉄骨造 3 階建て
- ウ. 延床面積 : 6,481 m²
- エ. 屋内施設 :
 - 【1 階】 大ホール (1 階部分)、小ホール、楽屋、食育活動室 (セミナー・キッチンコート)、市民協働センター、スタジオ、実習室 (体験工房)、アートプラザ (エントランス) など

【2階】 大ホール（2階部分）、ホワイエ、子育て支援室、スタジオ、会議室、和室、アートプラザ、備蓄倉庫、倉庫

【3階】 大ホール（3階部分）

オ. 屋外施設：来客者駐車場 2台（身体障がい者仕様）

来客者駐輪場 86台（自転車80台、バイク6台）

(5) 整備事業費の財源内訳

51億7,763万814円（国庫補助金：14億398万6,000円 合併特例債：35億8,490万円

一般財源：1億8,874万4,814円）

議案第110号 工事請負契約の締結について（令和元年度市道小半線橋梁下部工（A1橋台及びP1橋脚）工事）（建設総務課）

(1) 契約の内容

ア. 工 期 304日間

イ. 契約の相手方 盛田・東豊特定建設工事共同企業体

ウ. 契 約 金 額 1億6,244万6,130円

(2) 工事の概要

ア. 橋台工（逆T式橋台） H=11.5m、N=1基

イ. RC橋脚工（壁式橋脚） H=14.0m、N=1基

ウ. 法覆護岸工 A=469㎡

(3) 工事費の財源内訳

1億6,244万6,130円（合併特例債：1億5,430万円 一般財源：814万6,130円）

議案第115号 佐伯市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について（こども福祉課）

幼児教育・保育の無償化による特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、保育所等における副食（おかず、おやつ等）の提供に要する費用について規定の追加等をする。

(主な改正内容)

保育所（認定こども園、幼稚園）等における食事の提供のうち、副食（おかず、おやつ等）の提供に要する費用について免除するもの

[改正前] 保護者から一定の額を保育料と合わせて徴収

[改正後] 各世帯の市町村民税所得割合算額又は子どもの数により免除

※ 免除の詳細は、議会関係資料⑧予算外議案の参考資料 参照

議案第 116 号 佐伯市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例の一部改正について（こども福祉課）

幼児教育・保育の無償化に伴う令和元年 5 月 17 日に公布された「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」により、特定教育・保育施設の利用に関して、新たな給付制度が創設されるため、条例の規定の整理を行う。

（主な改正内容）

保育所等の利用者負担額の変更を行う。詳細については、本条例の施行規則の一部改正による。なお、その変更の概要は別紙資料のとおりである。

※ 変更の概要は、議会関係資料⑧予算外議案の参考資料 参照

議案第 117 号 佐伯市条例の廃止に関する条例の一部改正について（社会教育課）

(1) 市民会館（新文化会館）建設検討委員会設置条例の廃止

佐伯文化会館の機能を移転させた「さいき城山桜ホール」が設置されることに伴い、市民会館（新文化会館）の建設に関し諮問を行う必要がないことから、条例を廃止する。

(2) 佐伯市文化会館条例の廃止

施設の老朽化により、佐伯文化会館の機能を新たに設置される「さいき城山桜ホール」に移転させることから、当該文化会館を廃止することに伴い、条例を廃止する。

2 企業誘致に伴う協定の締結について

8 月 23 日に大分県庁において、小川香料株式会社及び同社が現地法人として設置した小川香料おおい佐伯農場株式会社と香料に関する研究所の設置及び運営等に関する協定を締結した。

両事業者とは、昨年 8 月 21 日に大分県庁において、香料の原材料となるレモンの生産、販売等を通して、地域経済の浮揚及び地域産業の発展に寄与することを目的とし、米水津地区での農場開設に関する進出協定を締結している。

今回の協定は、農場で生産されたレモンを含めた地域の天然資源の香りや味に関する研究所の設置と運営を目的としたもの。

(1) 事業者の概要

ア. 事業者名	小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕
イ. 所在地	本社：東京都中央区日本橋本町 4-1-11
ウ. 事業内容	香料及び関連製品製造販売

(現地法人の概要)

ア. 事業者名	小川香料おおい佐伯農場株式会社 代表取締役 上野 俊輔
イ. 所在地	佐伯市米水津大字色利浦 493 番地 3
ウ. 事業内容	農産物の生産・貯蔵・運搬・加工・販売・香料に関する研究

- エ. 農場の場所 米水津大字色利浦
- オ. 農場の規模 約8ヘクタール（耕作放棄地 約1ヘクタール）
令和3年3月に苗植栽（第1工期分）、令和6年度に初収穫（予定）
ピーク時の収穫量200トン／年
- カ. 研究所 米水津大字色利浦
令和3年4月運営開始（予定）
- キ. 従業員数 3人（うち、地元雇用2人）

(2) 経過と今後の予定

小川香料株式会社は、日本産天然原料の供給が不足していることから、日本産にこだわった素材の製品を国内外へ発信するため、自社生産により原料を安全に調達することのできる場所を探していた。気候が温暖で古くから柑橘類栽培の歴史があり、国内では数少ないレモン栽培の適地である佐伯市において事業実施することとした。

3 第1回佐伯市行財政改革推進委員会の開催について

人口減少・高齢化社会の進行による社会構造の変化に対応し、将来世代への負担をかけない持続可能な財政基盤を確立するため新行財政改革推進プラン（令和2年度から令和6年度まで）を策定する。

そのプランに民意を反映させるため、必要な事項を調査、審議し、市長に対し助言等を行う行財政改革推進委員会を設置する。その第1回となる委員会を次のとおり開催する。

(1) 日 時 9月2日（月） 14時～16時30分

(2) 場 所 市役所6階 大会議室

(3) 内 容

- ア. 委員委嘱 13名（区長会、金融、地域づくり、教育、ICT等の各分野の有識者）
- イ. 会長・副会長選出
- ウ. 議題「新行財政改革推進プランの策定について」

4 クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」の佐伯港初寄港について

日本クルーズ客船株式会社が運航するクルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」の初寄港にあたり歓迎行事等を実施する。市民とご当地キャラによるお出迎えやお見送り、佐伯ならではのふるまい、ステージ行事など、心を込めたおもてなしを行うことで、同船の再寄港へとつなげていく。

「ぱしふいっく・びいなす」は、総トン数26,594トン、乗客数620人のプレミアム、ラグジュアリークラスの日本船籍

(1) 期 日 9月26日（木） 8時入港、17時出港予定

(2) 歓迎行事等

ア. 歓迎式典（船内ラウンジ）

特産品及び初寄港記念プレート贈呈

イ. 特設ステージ（女島地区岸壁）

綱切り神楽〔佐伯神楽直川保存会〕、千束楽〔千束楽保存会〕、

吹奏楽〔鶴谷中学校吹奏楽部〕、書道パフォーマンス〔佐伯豊南高等学校書道部〕

乗船客や乗組員による餅まき

ウ. 観光案内ブースの設置（女島地区岸壁）

エ. ふるまいコーナーの設置（ 〃 ）

オ. 特産品物販コーナーの設置（ 〃 ）

カ. 配送コーナーの設置（ 〃 ）

キ. 似顔絵作画販売コーナーの設置（ 〃 ）

ク. まちなかシャトルバスの運行（大手町間、葛港間の2路線）

(3) オプショナルツアー（佐伯市）※ 予定

ア. はやめぐり佐伯半日観光（佐伯城下町、本匠大水車の郷、麴の杜）

イ. 九州最東端の鶴御崎灯台と歴史・文学のみち

（鶴御崎灯台、水ノ子島海事資料館、鶴見海望パーク、佐伯城下町、海の市場〇）

(4) その他

一般見学者には、池船スポーツ公園から女島地区岸壁までの送迎バスを運行

※ 一般見学者の車両の岸壁への入場は不可

※ 送迎バス運行時間は、7時30分から17時15分まで

※ 資料 クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」添付

5 JR博多シティくうてん「さいきフェア」の開催について

福岡市のJR博多シティ9階、10階にあるレストラン街「シティダイニングくうてん」で佐伯の食材を使った「さいきフェア」が開催されることとなった。

観光客や福岡在住者に九州各地の魅力を伝えたいとのJR博多シティの趣旨と、福岡市圏域を物産、観光の重要なターゲットと位置付ける本市の方針が合致したもの。

期間中は、くうてん内全46店舗の飲食店のうち、36店舗で佐伯産食材を使った料理や佐伯の酒などが提供される。

くうてんの地域フェアは2011年から14回目、大分県内の地域としては初の開催。

(1) 期 間 10月1日(火)～11月10日(日)

(2) 提供メニュー名(使用される佐伯産食材)

- ・佐伯名物カンパチあつめし※ごまだし茶漬付 と牛たん焼定食(ごまだし、ブリッタルガ〔ブリのカラスミ〕)
- ・緋扇貝とアスパラの炒めカボス風味(緋扇貝、アスパラガス、トマト、かぼす)
- ・カルパッチョ(美人ブリとハマチ、マリンレモン、トマト)
- ・佐伯産かぼすヒラメのムニエル焦がしバターソース(かぼすヒラメ)
- ・選べる干物定食(干物)

※その他の使用食材 クロマグロ、酒、あまぎけ、ジビエ

(3) 付帯イベント

ア. JR博多シティでのプレスリリース

期日:10月2日(水) 場所:JR九州ホールホワイエ

イ. 佐伯産品のPRイベント

期日:10月5日(土)、6日(日) 場所:くうてん10階エレベーター前

出品物:麴のあまぎけ、ごまだし

ウ. 佐伯の食材を使った料理教室「さいきキッチン in 博多」を開催

期日:10月24日(木) 内容:ごまだし

11月14日(木) 内容:ブリ、糍

場所:博多阪急百貨店地階 キッチンスペース「うまか研究所」

エ. 博多発の佐伯バスツアー「さいき“うまいもん”の旅」

期日:11月9日(土)、10日(日) 40人×2日間

オ. 生産者、料理人及び市民による「さいきフェア」応援ツアー

期日:10月14日(月)